

「礎～イシズエ～」

私が生まれたこの故郷に、明るい未来をもたらすため、たくさんの若者達が、その身を削り「礎」を築いてきた。

遠く振り返れば、四国リーグを闘った時代には、「二神洋幸選手の華麗なスルーパス」や「奥田真央選手による豪快なダイビングヘッド」。

JFLの時代には、「金子豊選手の弾丸フリーキック」や「小原光城選手の身体を張ったディフェンス」。

そしてJ2へと辿り着き、「猿田浩得選手による歓喜のゴール」や「羽田敬介選手のファインセーブ」等々。当然、全てを語り尽くせはしないが、今もなお、色褪せることなく光り輝く数々の「礎」が、私達の心を魅了し、現在の愛媛FCを形作っている。

今日もまた、このスタジアムでは、新たな「礎」が築かれようとしている。

ここに集えば、その「礎」を五感で体感する

ことが出来る。

ここに集えば、仲間達と「喜び」や「怒り」、「悲しみ」や「楽しさ」、全ての感情さえも共有出来る。

そんな人々の思いを飲み込むこの場所で、奇跡の如く生まれた「礎」。そのパワーが、皆を笑顔に変え、元気を与えてくれる。

元気になった皆のパワーが、また新たな「礎」を誕生させる。

『愛媛の明るい未来は、偽りではなく真実。』

スタジアムが、そう語りかけてくれるのだ。

松山市在住 男性44歳 応援暦13年